

Ⅳ. 学校評価

令和6年度 穴内小学校学校評価(自己評価・学校関係者評価)

【学校教育目標】いきいき穴内っ子 ー 未来の穴内を背負って立つ人材の育成 自立・貢献・共生 ー

4…目標を十分に達成

3…ほぼ目標を達成

2…やや不十分

1…改善を要する

組	中長期経営目標	短期経営目標	評価項目(経営目標達成に向けた具体的な取組)	達成基準				
教育課程・学習指導	・主体的に学ぶ意欲を持った児童の育成(自立・共生)	1.児童がひとり学び・とも学びのできる授業づくり	(1)研究授業の計画的な実施 (2)専門機関を活用した授業研修の実施 (3)複式教育(直接・間接)を意識した授業の実施	①全担任が研究授業を実施する。 ②外部講師を招聘した校内研修を実施する。 ③複式授業の充実(ICTの効果的な活用) ・直接・間接指導の工夫・主体的対話的な学びの充実 ・児童間の学び合い活動 ・学習リーダーの活用④ICTタイムの充実を図る。				
		2.キャリア教育の推進	(1)地域の主産業である農業の苦労や喜びを知り、地域の良さを学ぶ農業体験学習 (2)地域との交流を通して地域を支える力を体感させる学習	①農業体験学習を通して、協力しあうことの大切さや収穫の喜び、達成感を味わわせる。 ②働くことへの関心を持ち、勤労や生産に積極的に取り組もうとする態度を育成する。				
		3.基礎学力の定着と学力の向上	(1)学力調査の検証と改善に向けた取組 (2)家庭学習の定着と内容の充実	①朝・昼学や放課後学習を通して、加力学習を行う。 ②各学年に応じた『学習の手引き』を作成する。 ③自主学習ノートの質の向上を図る。 ④各学力調査の結果が向上する。国・算(+5)				
児童理解・心の教育	・互いを認め合い、協力しあって行動できる集団の育成(貢献・共生) ・自尊感情の育成(自立・共生)	1.児童の心の居場所となる学級・学校づくり	(1)児童理解の深化 (2)講師を招聘した校内研修の実施 (3)スクールカウンセラーとの連携 (4)Q-Uや道徳診断アンケート等の活用	①児童の状況について日常的に情報交換を行う。 ②③スクールカウンセラーを交えた校内支援会等を実施する。 ③気になる児童への個別の指導・支援を行う。 ④Q-Uの結果 不満足群・侵害行為認知群に属する児童 30% ④道徳診断アンケート結果 「いじめは絶対にいけない」肯定評価 100%				
		2.異年齢集団による仲間づくり	(1)児童が互いの良さを認め合える取組の実施 (2)児童の主体性とリーダーの育成 (3)特別活動に関する研究の推進 (4)生徒指導の3機能を生かした授業づくりや集団づくりの推進	①縦割り清掃活動、なかよし集会、発表集会などで児童が互いの良さを認めあえる活動ができています。 ②特別活動に関する校内研修を実施している。 ③教職員が学校教育活動における様々な場面で児童に対する肯定的評価ができています。 ④道徳診断アンケート結果 「自分には良いところがある」肯定的評価 90% 「人の役に立ちたい」肯定的評価 100%				
健康教育・命の教育	・児童の健康保持・増進と基本的な生活習慣の定着。(自立) ・自分の命を守れる児童の育成。(自立・貢献)	1.児童の健康保持・増進と体力の強化	(1)体力的な課題を明確し、具体的な取組を全校で実施 (2)体育的行事の活用	①全ての教員が体力テストの適切な実施方法について理解し、実践している。 ②課題のある種目の効果的な指導方法について情報共有し、実践できている。 ③体育的行事に合わせた運動が休み時間等に行われている。 ④全国体力・運動能力、運動習慣調査結果 体力合計点全国平均				
		2.基本的な生活習慣の確立	(1)生活習慣調査の定期的な実施	①学期に1回、生活週間調査を実施する。 ②調査結果を個人指導や啓発に活用する。 ③保健だより等で保護者に啓発する。 ④保健集会でタイムリーな話題を行う。				
		3.安全意識の向上と安全行動の習得	(1)防災を中心とした安全教育 ・安全管理の推進	①交通安全教室等において安全な道路の通り方や自転車の乗り方について指導している。 ②年間3回以上の避難訓練と各学年における5時間以上の防災の授業が実施できている。 ③定期的に安全点検を実施する。(月1回)				
連携教育	・学校運営協議会による教育活動の推進(貢献・共生) ・就学前から義務教育期間をつなぐ教育の充実。(自立・貢献・共生)	1.情報発信による学校教育活動の周知	(1)「学校だより」の定期的な発行(月1回) (2)「穴内っ子(子ども新聞)」の定期的な発行(学期に2回程度)	①毎月発行する「学校だより」により、学校の取組や状況について周知し、理解や協力を得る。 ②児童が作成したお便りの発行・配布により学校活動への理解や協力を得る。				
		2.学校・家庭・地域の連携推進	(1)地域と協働した勤労・生産的、体育的行事、文化的行事等の実施	①農業活動を通して、地域の良さを学ぶ。 ②学校運営協議会の取り組みを推進する。				
		3.保・小・中への連携推進	(1)保・小が連携した取組の実施 (2)中学校区で連携した取組の実施	①児童と保育園児の交流活動を積極的に行う。 ②スタートカリキュラムや体験入学等により円滑な小学校生活への導入を図る。 ③安芸中学校区連携教育の取組を充実させる。				